

再び学んで〈わ〉のために

西田理事長

ぶっちゃけ対談

新人・須賀理事

グループわ を一緒に支え、盛り立てていきましょう——新しく理事長に就任した西田圭一さん（生9）と理事に選ばれた須賀悦子さん（国14）が、わの現状・組織の活性化・課題・新しい事業について、ざっくばらんに語り合いました。結婚相談所を開いては？といったアイデアも飛び出すなど、新人がベテランに直球をぶつけた1時間でした。

わって何？

須賀 理事長就任おめでとうございます。私も理事としてお手伝いをすることになりました。よろしくお願いします。まず、



〈わ〉ってどんなところでしょうか。

西田 阪神大震災のとき、シルバーカレッジが救援基地になった。その際、在校生が始めたボランティア活動が、グループわ結成のきっかけです。その後、NPO法人になり、現在1200人ほどの会員が〈再び学んで他のために〉の校訓を受け継いでさまざまな活動をしています。

須賀 すごく大きな団体なんですね。主にどんな活動がありますか。

西田 サークルの延長としてカレッジ卒業生がやっている活動と地域活動。わの本部が、しあわせの村などと協働で実施する夏祭りなどのイベント。神戸市から運営を委託されている環境未来館などの事業——大きく分けて3つです。

子供たちを重点に

須賀 理事長としてリーダーシップをとられるのですが、活動の重点はどこに？

西田 子どもたちを対象にした活動、私たちが一緒に楽しめる活動にシフトしていきたいですね。NPO法人になって7年。会員も増えたのに、組織としてはまだバラバラです。昨年は地域に目配りしようと、区会マニュアルを作り、リーダーの若返りを図った。今年から部会の再編を手がけようと思っています。

須賀 具体的には？



西田 伝統文化とか、子ども対象とか、活動目的に沿った区分け。あるいは里山のプロジェクトチームを作る、といったまとめ方はどうか、と考えています。

企画は本部で立て、実施は部会・区会にお願いするやり方もありますね。

もっと区会の活用を

須賀 地域活動の方は、区会マニュアルの整備だけで効果はありますか。

西田 歴史的なこともあって、清掃など実際の活動は地域でずいぶん違う。子供たちへのサポートも、在校生は見守りなどの学校支援。わは学習支援と2本立てになっており、外部から見ればバラバラの印象がある。将来的には、こうしたものをすべて区会のリーダーシップでやるようにしたい。

須賀 わの事業といっても、サークル活動以外はほとんど知りませんでした。子供たちの電話相談なんかにも関わっているんですね。

西田 ええ、いじめや虐待などの悩みを聞いてあげて、少しでもサポートできれば、という思いで続けています。24時間体制はきついですが、子供たちの人生を左右するかも、と思えば真剣にならざるをえません。

須賀 文化祭みたいなものを、やったらどうでしょう

●グループわ 阪神大震災（1995年）の後、在校生で結成されたボランティアセンターが母体となり97年社会還元センター（愛称・グループわ）設立。170人参加。2004年5月、NPO法人として再スタート。2010年5月現在、会員1200人。